

第3回札幌市オリンピック・パラリンピック教育検討会議 意見要旨

副教材案について

全ページ共通

来田委員	札幌市教育委員会のHPに全競技を閲覧できるページを設け、IoTを活用するのはどうか
大牧委員	ページ内にQRコードやURLを入れてもよい
大牧委員	副教材で扱いきれない場合でも、指導資料集に盛り込み、より多くの情報を記載できるようにしたい

4・5ページ（競技紹介）

鈴木委員	4・5ページに掲載されている競技は何か選別しているのか
永瀬委員	スキーでもジャンプを始め様々な種別や種目があるため、写真として多くを示せるとよい
永瀬委員	5ページのスリーアギトスの色塗りは少し難しすぎる

6・7ページ（体育）

山本座長	7ページはアダプテッドスポーツの視点を入れたほうがよい
永瀬委員	6～7ページは、オリンピックとパラリンピックが分けられている気がするため、6・7ページを、オリンピック・パラリンピックに分割せず、みんなで取り組めるという概念に変更してはどうか
山本座長	6～7ページで、インクルージョンの発想を盛り込めないか
鈴木委員	健常者が障がい者の程度に合わせるのではなく、お互いが歩み寄るような工夫があってもよい

8・9ページ（社会）

秀島委員	8ページと10・11ページが似た構成になっているが、それぞれどのように扱うのか
------	---

10・11ページ（社会）

来田委員	10～11ページがあまり連動していない
来田委員	ピクトグラムを書かせて施設を周り、集められるようにするとよい
山本座長	地図とその他HPとの連携ができるとよい
永瀬委員	11ページを障がいのある子どもはどう読み取るのか
山本座長	10・11ページに、バリアフリーの施設など障がいのある方への福祉的な情報を盛り込めたらよい
来田委員	11ページは、障がいのある子どもたちが歩きやすい道になっているかチェックさせるのも面白い
成田委員	子どもたちだけではなく、おうちの人にも一緒に考えてもらえる工夫がほしい

12・13ページ（総合）

来田委員	総合のページで、他学年との関わりが持てるような展開ができればなおよい
------	------------------------------------

14・15ページ（道徳）

来田委員	道徳のページで「違いを認める言葉」を入れることができないか
------	-------------------------------

16ページ（クロスワード・まとめ）

荒委員	最後のページは、まとめになるページとなるとよい
-----	-------------------------

## 実践事例集案について

### オリンピック・パラリンピック教育の概念

来田委員	オリパラが平和の祭典という表現をすると、平和は勝手にやってくるものになってしまう
来田委員	価値は教えられるものではなく作っていくものであるため、一部文言の修正が必要
来田委員	価値があるものということを生産する当事者になってほしい
永瀬委員	パラリンピックの4つの価値のEqualityは、平等ではなく公平とすべき
中学校体育	
永瀬委員	ワークシートの挿絵に、パラリンピック競技も入れてほしい
中学校道徳	
成田委員	中学校道徳が教科として扱われるため、評価が必要になると思うが、評価の観点として価値を一元化することに違和感を覚える
鈴木委員	阿部さんの著書では「つらい時に人に優しくできる気持ち」「最後までやり抜くことの大切さ」の2つが象徴的であり、人間力の形成につながるため、道徳の授業では、その両方を伝えてほしい